

ひびきあい No.16

平成30年3月 岐阜県人権教育協議会

人間尊重の気風がみなぎる学校づくりを推進する

～いじめ問題への対応で求められる人権尊重の精神～

いじめ問題に取り組む基本姿勢は、人権尊重の精神を貫いた教育活動を展開することです。

「いじめは人間として絶対に許されない」という意識を一人一人の児童生徒に徹底させるとともに、教職員自らそのことを自覚し、保護者や地域に伝えていく必要があります。いじめが生じた場合には、いじめられている児童生徒に非はないという認識に立ち、組織的対応によって問題の解決を図ります。心の傷の回復に向けた本人への働きかけを行うと同時に、学校全体として社会性をはぐくむ取組につなげていくことも大切です。【「生徒指導提要 2いじめ問題への対応」 P186より】

学校において人権教育を推進するに当たって、教師としてどのようなことを大切にして取り組むとよいですか。



1 「全教育活動において基本的に配慮すべき事項」を踏まえることです。

【全教育活動において基本的に配慮すべき事項】

- (1) 認め合い、励まし合って学習することにより、学力の向上を図る。
- (2) 科学的で合理的な見方・考え方を育てる。
- (3) 自主自立の精神と正義感をもって諸問題の解決を目指そうとする実践的態度を育てる。
- (4) 相互の信頼と共感に基づく好ましい人間関係の醸成を図る。
- (5) 正しい勤労観と職業観を育てる。
- (6) 人権尊重の精神に立って、公正公平な態度や思いやりの心を育てる。

2 「誰もが陥りやすい人間の心の弱さ（見方・考え方・態度等）」から、児童生徒や教師自身の姿を見つめ直すことです。

【誰もが陥りやすい人間の心の弱さ（見方・考え方・態度等）】

- (1) 事実を確かめず、決め付けて考えてしまう。
- (2) 一つの事実であっても、全体のこととして考えてしまう。
- (3) 外見や世間体にとらわれてしまう。
- (4) 異質なものを避けたり、排除したりしようとする。
- (5) 自分の利害のみにとらわれ、相手の立場を考えようとしない。
- (6) 自分の差別意識に気が付かない
- (7) 周りと比較して優越感や劣等感をもつ。
- (8) 間違っているとしても、周りの多数に合わせる。
- (9) 他人事と誤ってしまい、無関心・傍観者の態度をとる。
- (10) 様々な人権問題について間違った知識や偏見をもっている。



人権教育の手引(平成24年度
岐阜県教育委員会)

「人権という普遍的文化」を 築いていくために



—「ひびきあいの日」を核とした継続的な取組の充実—

優れた取組を継続して行っている「人権文化あふれる学校賞」を受賞した
園・学校の実践事例を紹介します。

中津川市立坂本幼稚園

◇高校生とのふれ合いを通して、思いやりの心を育てています。

○継続して取り組んでいること

- 坂本幼稚園では、幼児が地域の方や家族、地元の高校生など、人と関わることの楽しさや人とつながる喜びを味わうことで、相手を思いやる気持ちを育てています。
- 特に年間を通じて、地元の高校生と交流をもち、一緒に田植えや稲刈りを行ったり、おもちゃ作りやふれあい遊びを行ったりするなど、高校生と楽しくふれ合う時間を過ごしています。



○取組の素晴らしさ

- 幼児が、より多くの人と接する中で、楽しさを共有したり、優しくされたりする体験を通して、自分自身や仲間を大切にしようとする意識を高める取組を行っています。

瑞穂市立本田小学校

◇教育活動の全体にわたって、自他の大切さを認め合っています。

○継続して取り組んでいること

- 年間35時間(第1学年は34時間)の道徳の時間が子どもたちにとって学びがいのあるものになるよう、全教職員で道徳の授業づくりの研修に励み、指導方法の改善を行っています。
- 児童会が中心となって、3つのよさ見つけ(学級の仲間のよさ見つけ・全校の仲間のよさ見つけ・自分自身のよさ見つけ)を行い、自分や仲間を大切にしています。

○取組の素晴らしさ

- 道徳の授業づくりを通して、教職員の人権感覚を高めています。また、児童会活動を通して、児童一人一人の思いやりの心や自己肯定感を高め、自他の大切さを認め合う取組が行われています。



郡上市立八幡中学校

◇八幡中人権宣言を基盤とし、生徒主体で一人一人が大切にされる学校づくりに取り組んでいます。

○継続して取り組んでいること

- 人権集会やアンケートを年間複数回行い、人権意識行動力の変容を見届けています。
- 相手を大切にすることを育むために、あたたかい言葉かけ運動等を行っています。
- 八幡中人権宣言をもとに日常生活を振り返ったり、各学級で仲間を大切にするための活動を考え取り組んだりしています。



○取組の素晴らしさ

- 八幡中人権宣言の内容が常に生活の中で意識できるように、年間を通じたアンケートによる実態調査、人権集会を意図的に位置付け、生徒が主体となって具体的な活動を考える取組が行われています。

県立不破高等学校

◇誰もが過ごしやすい学校にするために、生徒主体で、心を育て、行動へつなげるための取組を進めています。

○継続して取り組んでいること

- 人権について意識して生活することを意図し、生徒、職員ともピンク色のリボンを制服やジャケット等に付けて過ごす日を設定しています。
- 全校一斉で「ひびきあいの日」LHRを行い、各クラスごとに人権に関するテーマを設定し、他者との関係を見つめ直すことで、相手の気持ちを考えて行動する大切さを再確認しています。



○取組の素晴らしさ

- 生徒への意識調査を基に実態を捉え、自己肯定感を高める取組が、「自分だけでなく他人も大切にしよう」という意識を養う取組にもなっています。また、人権に関わる諸活動が、年間を通して生徒主体で行われています。